

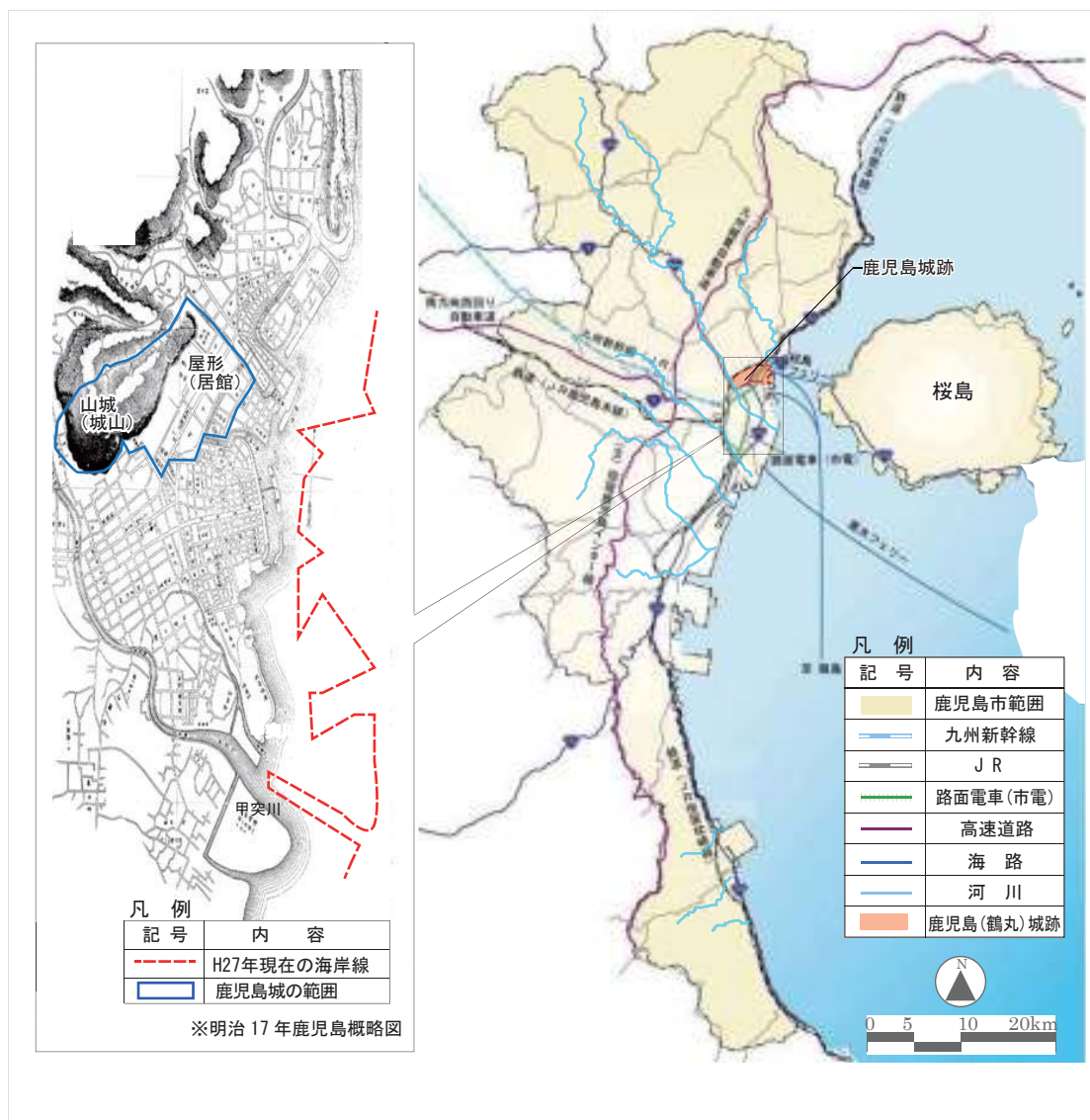
Ⅱ. 鹿児島市の概要

1. 鹿児島市の概要

1) 沿革

鹿児島の名が文献等で確認されるのは『続日本紀』に天平宝字8年（764）12月条に桜島の噴火記事において「甕島」と記されたことが初見とされる。

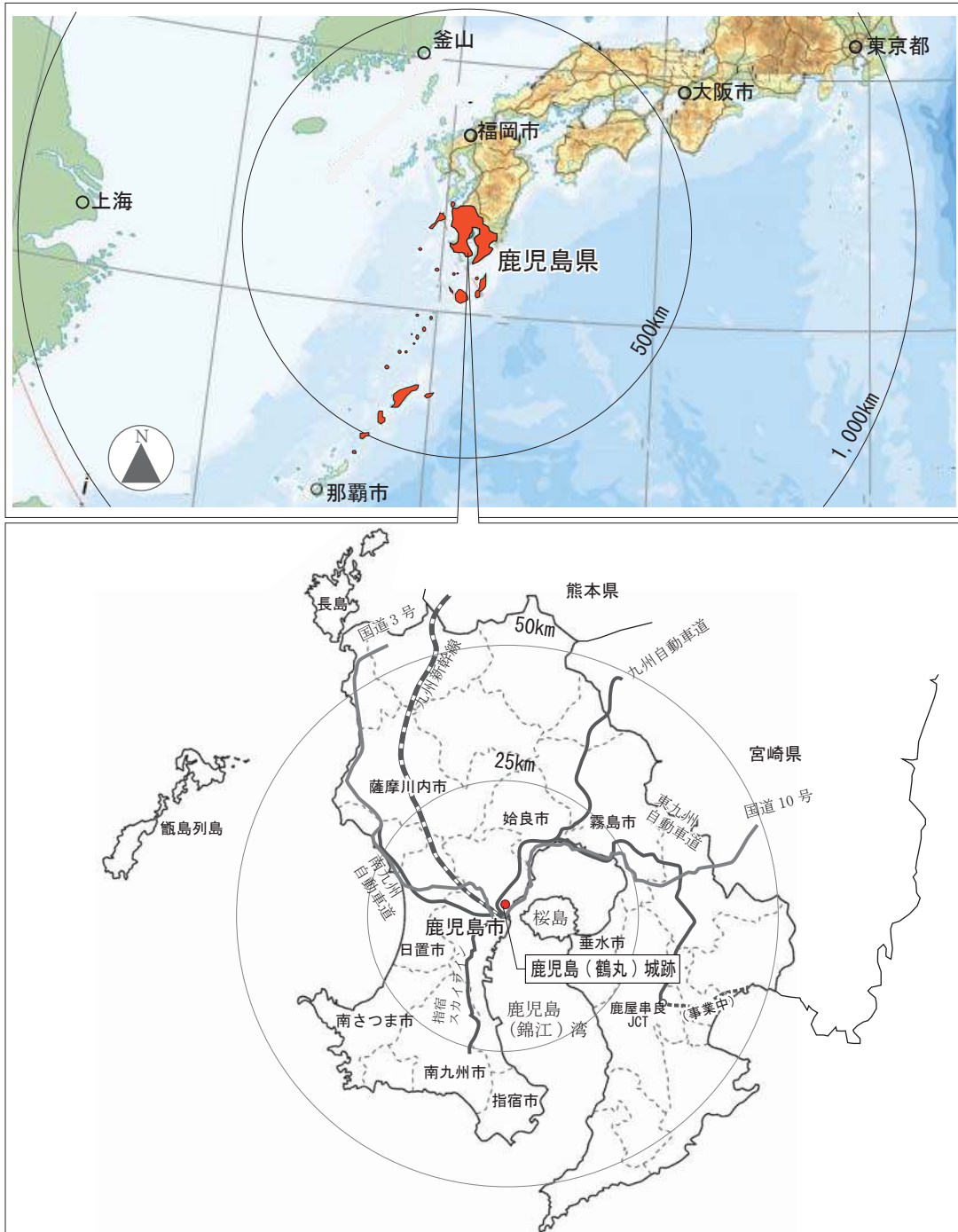
明治2年（1869）の版籍奉還後も、藩庁は鹿児島城に置かれ、明治4年（1871）には廃藩置県により鹿児島県庁が設けられた。その後明治22年（1889）4月1日、全国31の市とともに市制を施行し、鹿児島市として発足した。昭和25年（1950）には伊敷、東桜島両村を合併、昭和42年（1967）には谷山市と合併し、新鹿児島市が誕生した。平成16年（2004）11月1日には吉田町、桜島町、喜入町、松元町及び郡山町と合併し、人口約60.6万人、面積550km²（平成27年2月現在）の南九州の中核都市として歴史的な一歩を踏み出した。



(出典：鹿児島市公共交通ビジョンより一部抜粋)
図Ⅱ-1 明治17年頃と現在の鹿児島市街の比較図

2) 位置

鹿児島県は日本の南西部、九州の南端にある。東アジアで見ると大阪市や那覇市、韓国釜山等が約500km圏に、また東京や中国上海とは、約1000km圏の中心に位置する。鹿児島市は、鹿児島県の中央に近く、東を鹿児島（錦江）湾・南は南九州市・西は日置市・北は姪良市等に囲まれ、水・陸・空三面の交通に優れた位置にある。緯度は市役所において北緯31度35分、経度は東経130度33分である。



図II-2 位置図

3) 自然環境

①地形・地質

鹿児島市は、桜島等の火山活動で噴き上げられた火山灰により、市街地を取り囲むように標高約100～200m前後のシラス台地が形成されている。これらのシラス台地は雨水による浸食に脆弱であるため、侵食谷が各地に見られ、鹿児島における台地地形の特色となっている。鹿児島市の構成は、北に伊敷や吉野、西に小野や西別府、南に坂之上の台地があり、その台地の間を稲荷川・甲突川・田上川・脇田川・永田川などの河川が東流し、海岸部に小デルタを形成している。なお、桜島は現在も活発に活動を続けており、風向きによっては火山灰が市街地に降る。

②気候

気温は平成27年から過去5年間の平均によると、夏季最高気温35.5度、冬季最低気温-0.86度であり、年間平均気温18.6度である。また年間降水量は2,355mmに達し、6月から7月にかけて最も多く、温暖で多雨の太平洋側気候を呈している。

③植生

植生は、市街地を取り巻く台地から山地部では植林地が多くを占め、ところどころに自然林が点在している。特に城山は、暖帯性の樹木からなる原生林が国の天然記念物に指定されている。



写真①シラス地形（霧島市国分、上空より）



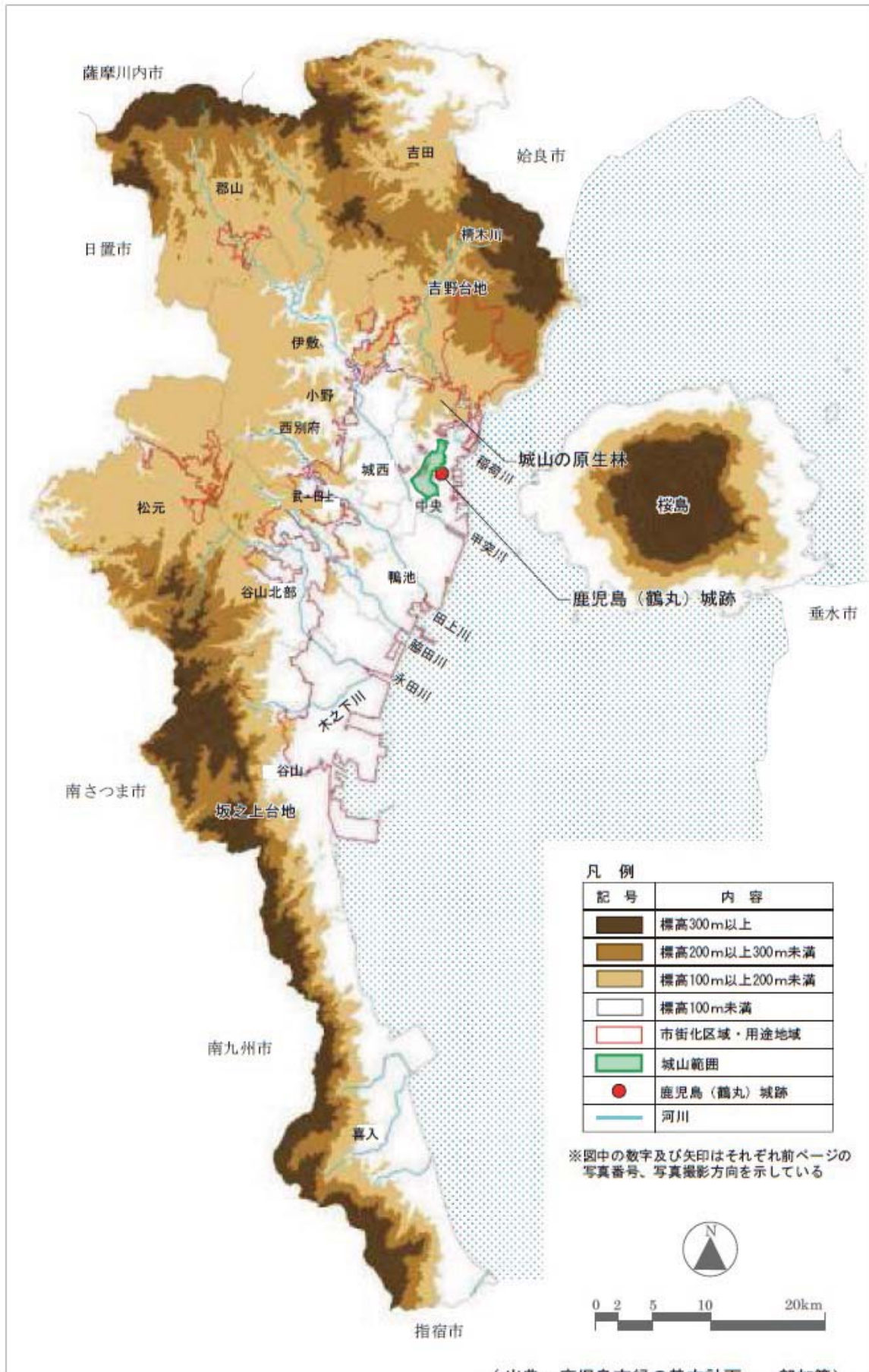
写真②侵食谷（江口蓬莱のシラス崖、江口浜より）
(①, ②写真出典：鹿児島県)



写真③国指定天然記念物 城山
(鹿児島県立博物館より)



写真④城山の原生林と稀有の植物相
(鹿児島医療センターより)



図II-3 鹿児島市の地形

4) 社会環境

①公共交通

鹿児島市の交通は、鉄道・バス・市営電車等の公共交通手段に恵まれており、鉄道は、JR九州が鹿児島中央駅を起点に、鹿児島本線、日豊本線、指宿枕崎線方面への列車を運航している。さらに平成23年の九州新幹線全線開業に伴い、九州各県だけでなく、中国・関西地方からのアクセス性も向上した。また、鹿児島空港連絡バスや福岡・大分・宮崎方面への長距離バス、県内各地に向けて運行されているバスは、いずれも起点が中心市街地に集中している。各方面とも運行本数も多く広域交通手段として利便性が高い。市内バスや市営電車も数多く運行され、その多くが中心市街地を起点・終点または経由地としている。また大型貨客船等が行き交う鹿児島港は、桜島や県内離島および沖縄への商業港としての拠点性があり、物流面においても生産地と消費地が近接しているといった優位性を持つ。（図Ⅱ-4 鹿児島市内の交通網参照）

②観光資源

雄大な桜島と波静かな錦江湾に代表される世界に誇れる自然景観や泉源豊富な温泉があり、都市と自然が共生する快適な環境である。特に鹿児島のシンボルである桜島は、現在もなお活発な活動を続けており、大地の胎動を体感できるスポットとして人気がある。また島津家の別邸である国指定名勝仙巖園（磯庭園）は、桜島及び錦江湾を借景にした壮大なスケールと美しさで有名であり、隣接する旧集成館は「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界遺産となっている。その他、縄文時代から近・現代に至る史跡等の歴史的資源も多く残されている。（次項写真1～4参照）

③土地利用

鹿児島市域面積の約70%は都市計画法に基づく都市計画区域に指定されている。市街化区域は全市域面積の15.4%、市街化調整区域は37.6%である。

さらに市街地における火災の危険を防除するため定められる防火地域や、用途地域内において市街地の環境を維持し土地利用の増進を図るため建築物の高さの最高限度あるいは最低限度を定める高度地区、並びに崩壊の危険がある急傾斜地において崩壊することにより多数の居住者等に危害が発生することが予測される土地および隣接する土地のうち、急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律に基づいて指定される急傾斜地崩壊危険区域や、宅地造成に伴う崖崩れや土砂の流出によって被害を防ぐことを目的とした宅地造成規制区域等も定められている。

鹿児島城跡および周辺についても、上記の対象に含まれていることが図Ⅱ-5～7で確認できる。



(出典：鹿児島市公共交通ビジョン 一部抜粋)
 図Ⅱ-4 鹿児島市内の交通網



写真1. 城山展望台より桜島と錦江湾



写真2. 名勝 仙巖園 (磯庭園)



写真3. 旧集成館 (機械工場)



写真4. 豊富な源泉 (写真出典：鹿児島県)

④関係法令

鹿児島（鶴丸）城跡の位置する土地には、次のような法令や条例等が制定・適用されている。

ア. 文化財保護法に基づくもの

- ・城山の一部は国指定天然記念物及び史跡となっている。（図Ⅱ-5参照）
- ・本丸及び御厩の石垣、堀は県指定史跡となっている。（図Ⅱ-5参照）
- ・その他では埋蔵文化財包蔵地となっている。

イ. 都市計画法に基づくもの

- ・城山の一部及び探勝園は都市公園となっている。（図Ⅱ-6参照）
- ・本丸と二之丸、及び南東部は、準防火地域となっている。（図Ⅱ-5参照）
- ・城山周辺地区の土地利用指定は、高度地区指定（最高20m）としている。（図Ⅱ-5参照）
- ・用途地域区分では、第2種住居地域に指定されている。（図Ⅱ-7参照）
（容積率200%、建ぺい率60%）

ウ. 森林法に基づくもの

- ・城山は全体が森林地域に入っており、森林地域については、下記のような内容が定められている。また、一部保安林に指定されている。（図Ⅱ-5参照）

関係法令の内容			該当 (鹿児島市域)	担当課
森林地域	森林法	林地開発の許可 (第10条の2)	市内全域	鹿児島県 鹿児島地域振興局
		伐採届 (第10条の8)		鹿児島市 生産流通課
		保安林解除の申請 (第26条、第26条の2)		鹿児島県 鹿児島地域振興局

(出典：『宅地開発・建築許可の手引き（鹿児島市）』より抜粋)

エ. その他

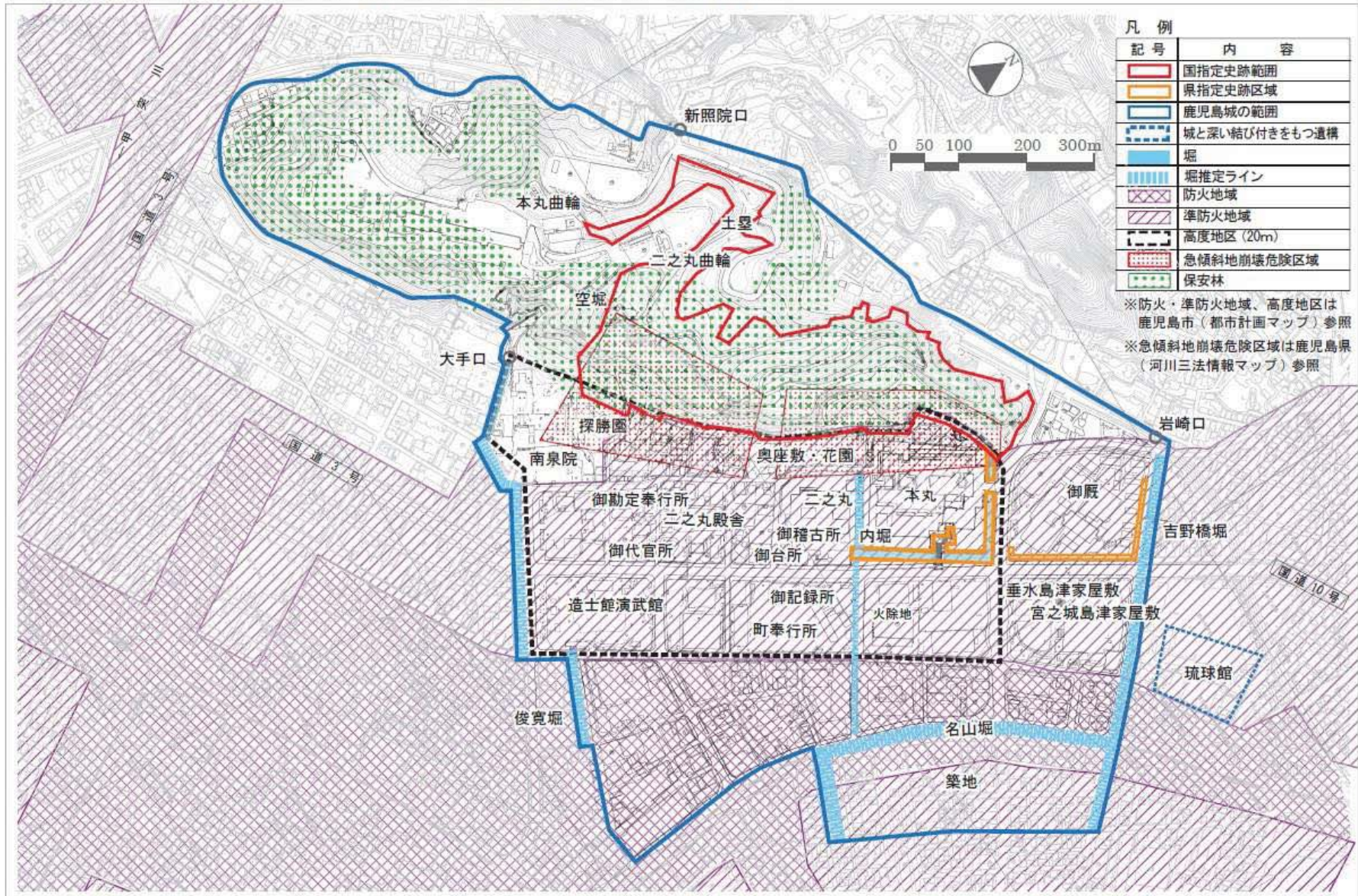
鹿児島市は平成20年6月に『鹿児島市景観計画』を施行し、桜島や城山への眺望確保や建築物等への色彩基準を導入するとともに、ほかでは見られない本市特有の景観や、歴史的価値のある建造物などを含む本市における数少ない景観を有する地区を景観形成重点地区候補地と位置づけている。

その1つに、鹿児島城跡を含む地域である『歴史と文化の道地区』があり、基本方針には「鶴丸城跡を中心に歴史資産を生かし、品格と統一感のある景観づくりを進めます」と掲げている。

既に本丸前の国道10号や市立美術館周辺道路の整備（石畳）等を行っている。

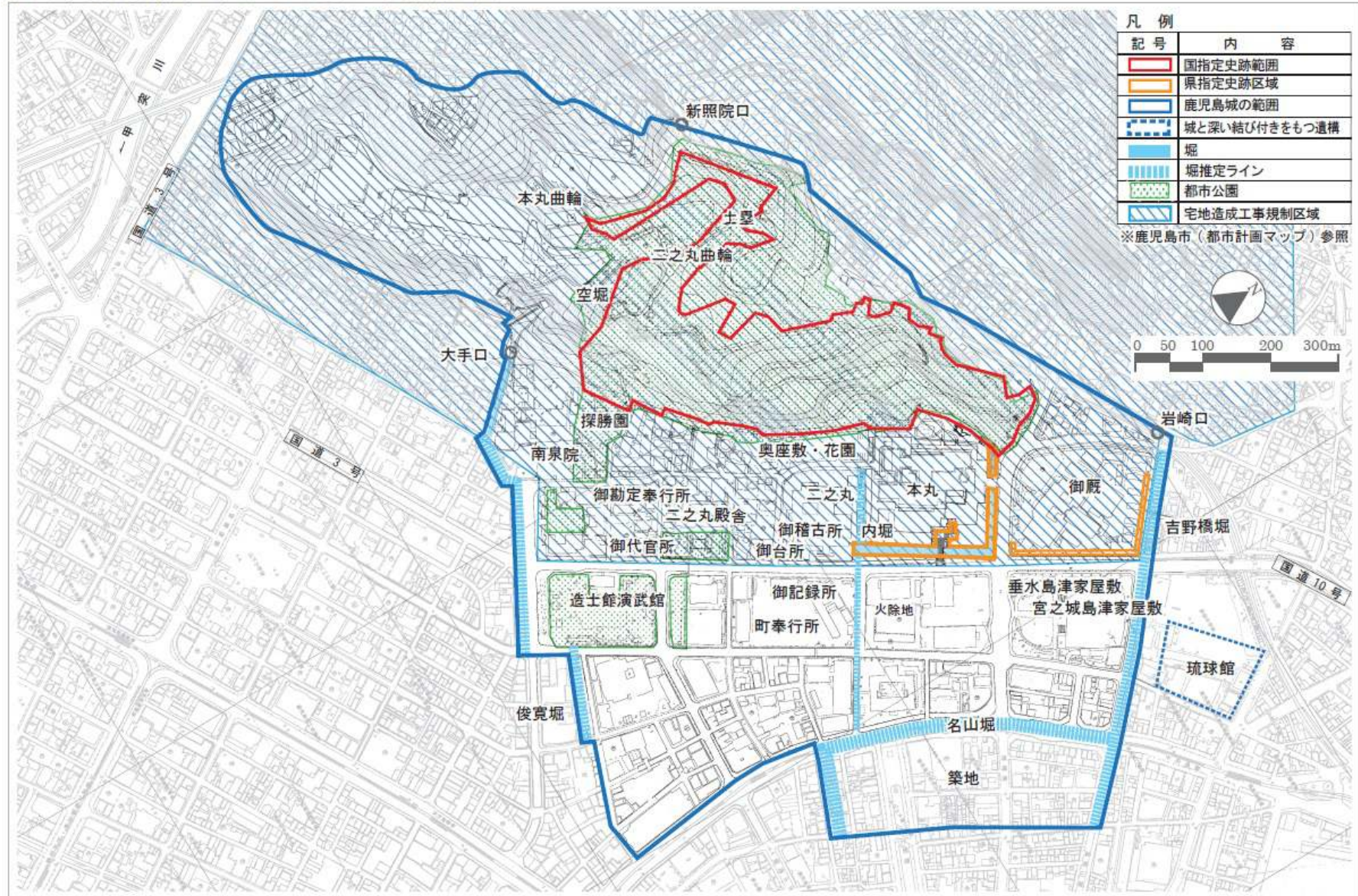
また本丸及び二之丸に接する城山の崖部は、急傾斜地崩壊危険区域となっている。（図Ⅱ-5参照）さらに、城山と本丸及び二之丸は宅地造成工事規制区域となっている。（図Ⅱ-6参照）

社会環境図①(防火・準防火地域、高度地区、急傾斜地崩壊危険区域、保安林)



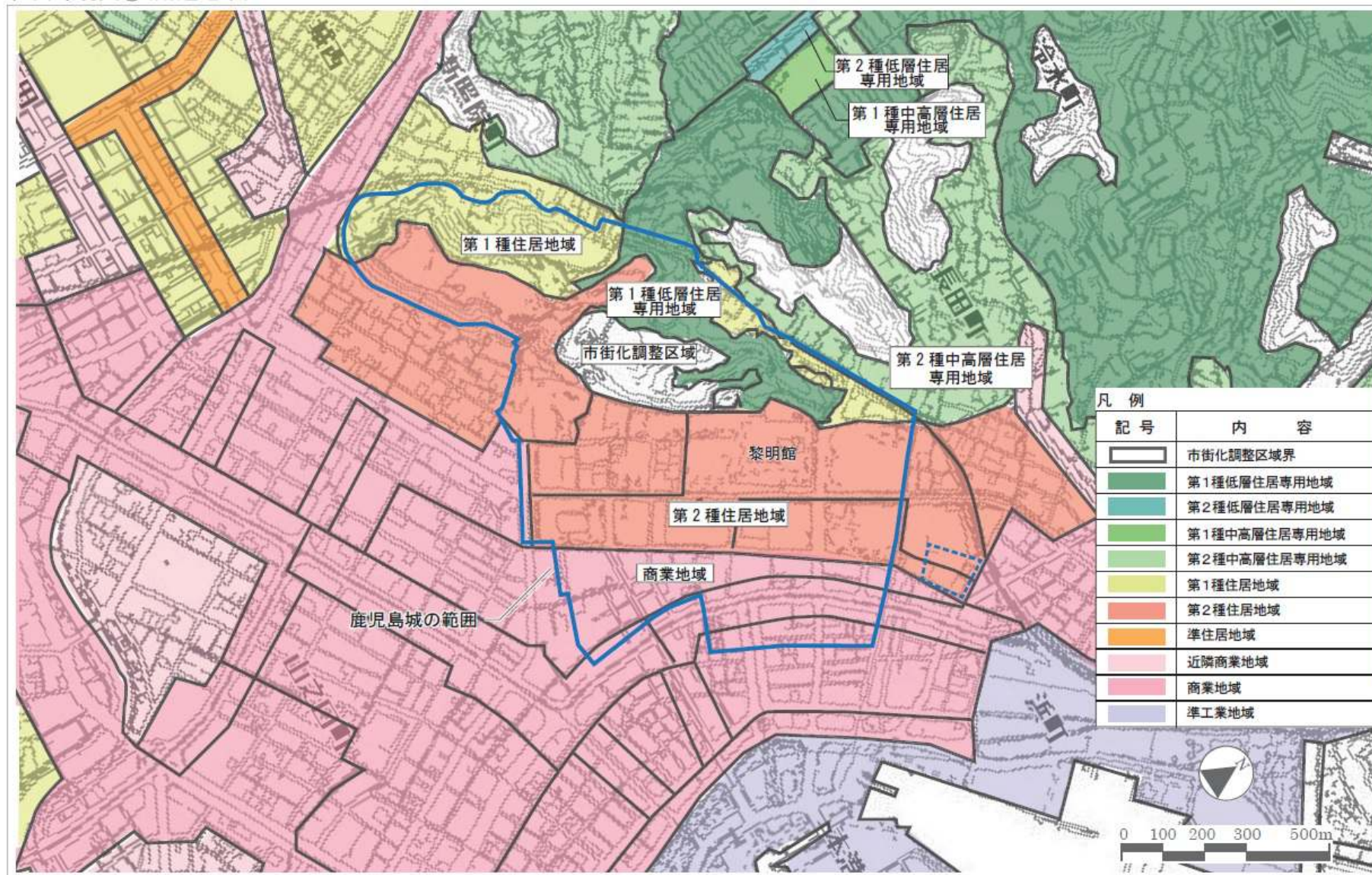
図Ⅱ-5 社会環境図①

社会環境図②(都市公園、宅地造成工事規制区域)



図II-6 社会環境図②

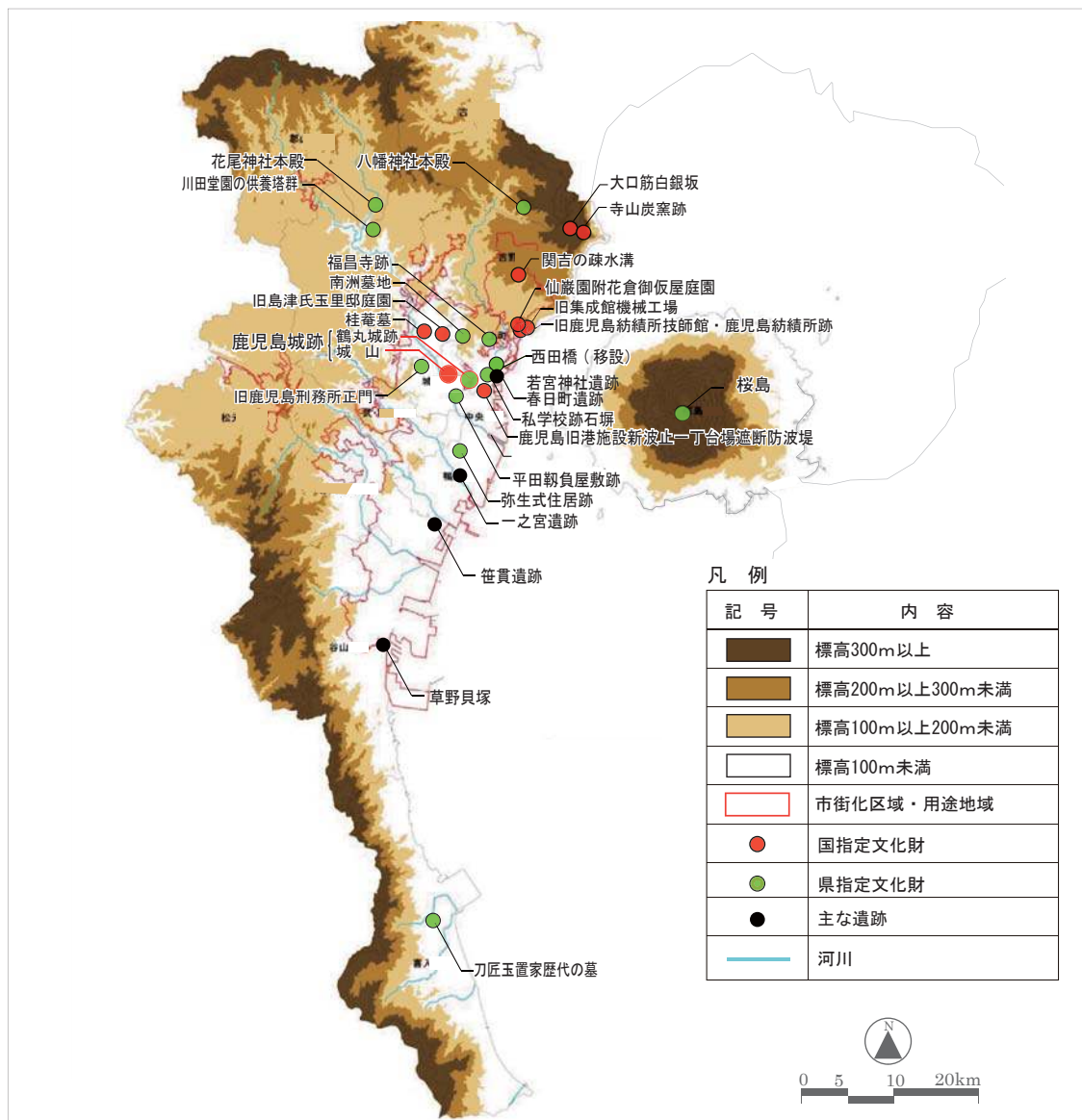
社会環境図③(用途地域)



図II-7 社会環境図③

5) 歴史環境

鹿児島市の先史時代の遺跡は、市中央部背後地の台地先端部や小河川によって開析されてできた舌状台地等に多く点在するほか、市街地周辺では標高約10m前後の丘陵地に点在する。市南の台地先端部には縄文時代後期の草野貝塚、海岸に近い地域では一之宮遺跡、笹貫遺跡といった弥生～古墳時代の遺跡が多数点在する。市街地周辺の丘陵部では春日町遺跡、若宮神社遺跡等の縄文時代前期から後期にかけての遺跡が点在している。また現在の鹿児島城より北側には、内城、清水城、東福寺城等、中・近世の城郭があり、歴史のある地域として知られている。さらに幕末から明治初めごろの産業遺産等は、平成27年に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産である旧集成館・寺山炭窯跡・関吉の疎水溝がある。鹿児島市に点在する国指定及び県指定文化財のうち、史跡及び建造物について分布図と一覧表でまとめる。



図Ⅱ-8 鹿児島市内の指定文化財等分布図

表Ⅱ-1 鹿児島市所在の指定文化財一覧(1) (平成28年1月1日現在)

<国指定文化財>

No	区分	種別	名称	所在地	所有者等	指定年月日	
1	国宝	工芸品	太刀 銘国宗	黎明館	照国神社	昭39.5.26	
2	特別天然記念物	植物	喜入のリュウキユウコウガイ産地	喜入生見町	鹿児島市	昭27.3.29	
3	重要文化財	建造物	旧鹿児島紡績所技師間	吉野町9685-15	鹿児島市	昭37.6.21	
4			旧集成館機械工場	吉野町19700	㈱島津興業	昭37.6.21	
5			鹿児島旧港施設 新波止 一丁台場 遮断防波堤	本港新町	鹿児島県	昭19.2.4	
6		工芸品	太刀 銘備前国住雲次	尚古集成館	鶴嶺神社	昭2.7.21	
7			赤糸威鎧兜大袖杏葉付一領	尚古集成館	鶴嶺神社	昭39.5.26	
8		歴史資料	文禄三年島津氏分国太閤検地尺 石田光成署判	尚古集成館	㈱島津興業	昭55.6.6	
9			木村嘉平関係資料	尚古集成館	㈱島津興業	平10.6.30	
10			銀板写真(島津斉彬像)	尚古集成館	㈱島津興業	平11.6.7	
11			形削盤	尚古集成館	㈱島津興業	平12.6.27	
12			大久保利通関係資料	黎明館	鹿児島県	平16.6.8	
13		記念物	史跡	城山	城山町	鹿児島市	昭6.6.3
14				桂菴墓	伊敷二丁目18	〃	昭11.9.30
15	旧集成館 附寺山炭窯跡 関吉の疎水溝			吉野町9700-1 他	㈱島津興業他	昭34.2.25 追加指定 平26.3.18	
16	鹿児島紡績所跡			吉野町9685-15	鹿児島市	昭34.2.25 追加指定 平27.3.10	
17	大口筋 白銀坂 龍門司坂		宮之浦町他	鹿児島市	平18.7.28		
18	名称		仙巖園附花倉御仮屋庭園	吉野町9700	㈱島津興業	昭33.5.15 追加指定 平25.10.17	
19		旧島津氏玉里邸庭園	玉里町3382番イ	鹿児島市	昭19.7.26		
20	天然記念物	植物	キイロツチトリモチ産地	吉野町字桜谷一帯	鹿児島市	大10.3.3	
21			城山	城山町	鹿児島市	昭6.6.3	
22		動物	薩摩鶏	市内一円	鹿児島県	昭18.8.24	
23			地頭鶏	市内一円	鹿児島県	昭18.8.24	

<県指定文化財>

No	区分	種別	名称	所在地	所有者等	指定年月日
1	有形文化財	建造物	西田橋	浜町7	鹿児島県	昭28.9.7
2			花尾神社本殿(附宮殿三基)・ 祝詞殿・幣殿・拝殿	花尾町4044-1	花尾神社	平14.4.23
3			八幡神社本殿 附宮殿 宮殿敷板1枚 棟札14枚	本名町瀬戸口3577	八幡神社	平17.4.19
4			旧鹿児島刑務所正門	永吉1丁目30-1	鹿児島市	平27.4.17
5		絵画	釈迦八相之図	黎明館	鹿児島県	昭30.1.14
6			富嶽雲烟之図一幅	市立美術館	鹿児島市	昭42.3.31
7			武将像(伝島津忠久画像)	尚古集成館	㈱島津興業	昭54.3.14
8		彫刻	不動明王像一軀	南林寺町23-22	南州寺	昭30.1.14
9			伝島津忠昌像	尚古集成館	㈱島津興業	平7.4.12
10			大権現忠国(島津忠国)像	尚古集成館	㈱島津興業	平7.4.12

(出典:「鹿児島市の指定文化財等一覧表」鹿児島市教育委員会事務局管理部文化財課)

表Ⅱ-1 鹿児島市所在の指定文化財一覧(2) (平成28年1月1日現在)

＜県指定文化財＞

No	区 分	種 別	名 称	所 在 地	所有者等	指定年月日	
11	有形文化財	工 芸 品	玩具コレクション	黎明館	鹿児島県	昭29.5.24	
12			紡績機	尚古集成館	カクイ(株)	昭31.9.27	
13		工 芸 品	刀 銘薩州住藤原正房一口	黎明館	鹿児島県	昭31.9.27	
14			刀 銘主馬首一平安代	黎明館	鹿児島県	昭31.9.27	
15			刀 銘奥大和守平朝臣元平一口	黎明館	鹿児島県	昭53.3.8	
16			刀 銘一葉葵紋主馬首一平藤原安代	黎明館	鹿児島県	昭58.4.13	
17			刀 銘一葉葵紋主水正藤原正清	黎明館	鹿児島県	昭58.4.13	
18			茶器 平野肩衝一口附目錄並附属品	尚古集成館	㈱島津興業	昭55.3.31	
19			薩摩硝子 島津家伝来	尚古集成館	㈱島津興業	平17.4.19	
20			葵牡丹紋七宝繫蒔絵雑道具	尚古集成館	㈱島津興業	平20.4.22	
21			白釉茶碗火計手	市立美術館	鹿児島市	平23.4.19	
22			黒蛇蝸釉茶碗	黎明館	鹿児島県	平23.4.19	
23		白蛇蝸釉茶碗	黎明館	鹿児島県	平23.4.19		
24		歴 史 資 料	島津貴久所用時雨の旗一旒ほか十六旒	尚古集成館	㈱島津興業	昭62.3.16	
25			犬追物関係資料	尚古集成館	㈱島津興業	平4.3.23	
26			英艦入港戦争図(薩英戦争絵巻)	尚古集成館	㈱島津興業	平9.4.21	
27		古 文 書	規式・料理関係文書	尚古集成館	㈱島津興業	平18.4.21	
28		書 跡	東郷家古文書	東千石町2-7	個人	昭34.10.23	
29			敬天愛人一幅	西郷南洲顕彰館	南洲神社	昭42.3.31	
30			為政清明一幅	市立美術館	鹿児島市	昭42.3.31	
31			桑幡文書	黎明館	個人	昭29.3.15	
32		参古資料	大永の名号板碑	郡元2丁目4-27	一之宮神社	昭34.6.10	
33			山ノ口遺跡出土品	黎明館	鹿児島県、錦江町	昭27.4.17	
34		無形文化財	芸 能	薩摩琵琶	同好会(草牟田2)	薩摩琵琶同好会	昭37.10.24
35				天吹	同好会(上之園町)	天吹同好会	平2.3.23
36		有形民俗文化財	民俗資料	鹿児島市山田町の田の神	山田町2275	鹿児島市	昭41.3.11
37				鹿児島市川上町の田の神	川上町826-4	鹿児島市	昭41.3.11
38				松元町入佐の田の神	入佐町1168-3	鹿児島市	昭43.3.29
39		無形民俗文化財	民俗芸能	鹿児島市中山町の虚無僧踊	中山町	保存会	昭38.6.17
40		記 念 物	史 跡	鶴丸城跡	城山町5-1	鹿児島県	昭28.9.7
41				福昌寺跡	池之上町20	一般財団法人島津宗家記念財団	昭28.9.7
42				弥生式住居跡	郡元二丁目4-27	一之宮神社	昭28.9.7
43				平田靱負屋敷跡	平之町6-1	鹿児島市	昭29.5.24
44	南洲墓地			上竜尾町2	鹿児島市	昭30.1.14	
45	私学校跡石堀			城山町8-1	国立病院機構鹿児島医療センター	昭43.3.29	
46	川田堂円の供養塔群			川田町1238	個人	昭38.6.17	
47	刀匠玉置家歴代の墓			喜入町8230	個人	昭60.4.19	
48	名 勝		桜島	鹿児島市	鹿児島市	昭29.3.15	
49	天然記念物		地質鉱物	噴火により埋没した鳥居	黒神町647	原五社神社	昭33.4.23
50		噴火により埋没した門柱		黒神町206	個人	昭33.4.23	
51		鹿児島市西佐多町の吉田貝化石層		西佐多町	ガイアテック	平20.4.22	
52		薩摩隕石		県立博物館	鹿児島県	平27.4.17	
53		植 物	特殊羊歯類及び蘚類の自生地	東桜島町2352	個人	昭35.6.20	
54			世界で初めて精子が発見されたソテツ	城山町	鹿児島県	昭20.4.22	
55		動 物	ウシウマの骨格	県立博物館	鹿児島県	昭38.6.17	

(出典:「鹿児島市の指定文化財等一覧表」鹿児島市教育委員会事務局管理部文化財課)